

第1学年 道徳指導案

1 内容項目 主題 「自己の向上」

自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。 1 - (5)

2 主題設定の理由

現代は格差社会であり、若者が夢を持ちにくい時代と言われる。6月に学年憲法を決めるために各学級で案を討議する機会があった。「夢を持って頑張る」という案に、「夢はない」「夢がある人となない人がいるので学年憲法にはふさわしくない」等々、夢論議になり、結局否決された。10年ほど前までは、1分間スピーチでも各人堂々と夢を語っていたが、今は「夢を持つ、夢を語る」ということはなかなか難しいようである。夢を持ち、個性を伸ばして充実した生き方をするためには「より高い目標を目指し、身近な課題を努力し実行していくことで、自己の向上を図ることが大切である」ことに気付かせたい。

図書室の4月から7月の総貸し出し冊数714冊中、597冊は文学であるが、伝記は0冊である。スポーツと哲学の本の中に、伝記に相当する本もあるが、それも貸し出し冊数はかなり少ない。生き方を直接知り、夢の実現を目指すという本はあまり利用されていないのが現実である。

道徳は学校の教育活動全体を通じて行う。今回は国語の授業でベストセラー「夢をかなえるゾウ」(水野敬也・飛鳥新社)の読み聞かせを行い、道徳の時間にそのまとめを行う。

本の中の29の「人生で成功するための課題」8番(資料参照)まで読み聞かせを行った後、この学級でアンケートを取った。「わくわくして楽しかった。」「関西弁の神様ガネーシャのキャラがおもしろい。」という読み聞かせ本来の感想から「すぐできるような課題ばかりだけど、どれも大切だし、身近なことからコツコツしていくことが夢への近道なのかなあと思った。」「こんなことで自分が変わるのだろうか」と疑ってしまうけれど、なんだか実行したくなってしまう。」といった実行への意欲まで感じられるものが多かった。「自分を変えたいと思ったことはないか」「自分を変えるために何かやったことがあるか」という問いには半数が「ない」と答えている。しかし、「今後自分を変えるためにやってみたいことは何か」という問いには、ほぼ全員が前向きな内容を書いている。機会があれば自分を前向きに変えていきたいという姿勢が感じられる。

資料は現在販売数100万部を突破している「夢をかなえるゾウ」という本である。華やかな世界に憧れながらも、まったく変わり映えのしない毎日の生活に悩んでいる普通の会社員「僕」の前に、おかしな象の神様「ガネーシャ」が現れる。「僕」は反発しながらも、29の「人生で成功するための課題」を実行していく。ラストの場面で、「僕」は建築界で有名になったのではないかとということが想像される。しかし、成功物語ではなく、「身近な課題を実行していくことで、自分を変えていくことが大切」と具体的な課題を突きつけながら、「やる、やらないは君のって」と突き放す。生徒は聞きながら、「こんなことで自分が変わるのだろうか」と疑いつつも「自分はどれができるかな」と思っていくようである。さらに、それを実行した(ということになっている)先人の本を多く紹介することによって、様々な生き方が分かる、価値観に幅を持たせられるのではないかと考えられる。

3 生徒につけたい力

自己の向上のために、実際に実行できる課題を選び、具体的な手順を考える力
自己の向上のために身近な生活を見直し、夢を持って頑張ってみようと思う力

4 指導工夫改善の手だて

学校司書が読み聞かせと本の紹介を行う。
生き方や価値観が多様な先人の本をできるだけ多く紹介することによって、自分も様々な夢を持って頑張ってみようと思う心を育てる。

5 指導計画 5時間

国語 1	国語 2	国語 3	国語 4	道徳1(本時)
聞<「夢をかなえるゾウ」の読み聞かせ 1 (学習の目標と内容)	聞<「夢をかなえるゾウ」の読み聞かせ 2 (課題解説)	聞<「夢をかなえるゾウ」の読み聞かせ 3 (課題解説)	聞<「夢をかなえるゾウ」の読み聞かせ 4 (課題解説)	「自己の向上」 (実践課題と本の紹介)

(1) 主題 読書活動を通じた心の教育 「自己の向上」

(2) 本時の指導観

前時までの4時間で「夢をかなえるゾウ」の学校司書による読み聞かせを行ってきた。本時は道徳として、いよいよ生徒が自分にもできそうな身近な課題を見つけて、実行のための具体的な手順を考え発表する時間となる。生徒どうしの発表を聞きながら、自分の発想を広げ、深化させる時間になりたい。さらにガネーシャの課題を実行した(ということになっている)先人の本を紹介することによって、人には様々な生き方があり、それは身近な課題を努力して実行していった賜物であることに気付かせたい。そして自己の向上のために身近な生活を見直し、夢をもって頑張ってみようという気持ちをもたせたい。

(3) 主眼

読み聞かせた本の中の「実行する課題」を選ばせ、実行のための具体的な手順を考えさせる。努力して成功した先人の本を多く紹介することで、自己の向上のために身近な生活を見直し、夢を持って頑張ってみようという気持ちを持つきっかけとする。

(4) 準備 ・「夢をかなえるゾウ」(水野敬也・飛鳥新社) ・伝記 成功物語等の本
 ・プリント「夢の実現に向かって作戦を立てよう」(ガネーシャの課題付き)

(5) 本時の展開

学習活動・ 学習内容	学習 形態	指導上の留意点	指導工夫改善の手だて	配 時
1 本時のめあてを確認する。	一斉			10
夢の実現に向かって作戦を立てよう。				
2 「夢をかなえるゾウ」のエピローグ部分の読み聞かせを聞く。		・これまでの内容を思い起こさせる。	司書が読み聞かせを行う。	
3 「ガネーシャの課題」を実行した「僕」がどうなったかを推測する。	班	・「建築家として成功したのではないか。」「現在活躍しているとすれば誰」程度にとどめる。		5
4 自分が成功するために「ガネーシャの課題」のどれを実行するか、作戦を立てて発表する。	個	・プリント「夢の実現に向かって作戦を立てよう」を書かせる。 ・できるだけ多く発表させる。	2人で机間を回りながら、実際に実行できる課題を選ばせ、具体的な手順をアドバイスする。	20
5 「ガネーシャの課題」を実行した(ということになっている)先人の本を見たり、紹介を聞いたりする。	一斉	・本を手にとって見させる。 ・「ガネーシャの課題」が「他の人への感謝」で終わることに触れる。「夢をかなえるゾウ」の最後を読み聞かせる。	できるだけ生き方や価値観の多種多様な本を準備する。	10
6 まとめをする。				5

資料 「人生で成功するための課題」 「ガネーシャ名言集」より

1 靴をみがく	2 (コンビニでお釣りを)募金する	3 食事を腹八分におさえる	4 人が欲しがっているものを先取りする	5 会った人を笑わせる
6 トイレ掃除をする	7 まっすぐ帰宅する	8 その日頑張れた自分をほめる	9 一日何かをやめてみる	10 決めたことを続けるための環境を作る
11 毎朝、全身鏡を見て身なりを整える	12 自分が一番得意なことを人に聞く	13 自分の苦手なことを人に聞く	14 夢を楽しく想像する	15 運が良いと口に出して言う
16 ただでもらう	17 明日の準備をする	18 身近にいる一番大事な人を喜ばせる	19 誰か一人のいいところを見つけてほめる	20 人の長所を盗む
21 求人情報誌を見る	22 お参りに行く	23 人気店に入り、人気の理由を観察する	24 プレゼントをして驚かせる	25 やらずに後悔していることを今日から始める
26 サービスとして夢を語る	27 人の成功をサポートする	28 応募する	29 毎日感謝する	

